

あまてらすみおやじんじゃほうのうがくさんめん

天照御祖神社奉納額三面 (和歌・狂歌・俳句)

指定種別：市指定文化財

指定日：平成22年2月25日

所在地：釜石市唐丹町字片岸（天照御祖神社）

制作年：文化11(1814)年

寸法：和歌 高さ46cm 幅270cm

俳句 高さ46cm 幅340cm

狂歌 高さ41cm 幅182cm



天照御祖神社奉納額三面は、「和歌扁額」と「俳句扁額」、「狂歌扁額」の3枚からなっており、天照御祖神社の由来を記した葛西昌丕書及び撰文の「常龍山之碑」と同じく、文化11(1814)年、遷宮を記念して奉納されたものと考えられています。

いずれも木造黒塗額縁で白木板面に句や歌が書かれており、「和歌扁額」は、奉納願文、四季を詠んだものが56首、祈応2首、祝2首、追加5首の計65首からなり、このうち葛西昌丕が13首を載せています。「俳句扁額」には85句の俳句が寄せられ、「本唐丹桜山下連」が主催となり、高橋東臯や岩間北冥、小野素郷など当時の有名な俳人も句を寄せており、唐丹で定期的な句会があったことを示すほか、広範な交流があったことを物語っています。「狂歌扁額」は24首からなり、屋号などが用いられています。

【和歌】



【俳句】



【狂歌】

